

あげしお

令和5年4月28日

鷹南学園

三鷹市立第五中学校

校長 鶴崎 靖二

◇学校教育目標◇

- ・進んで考える人
- ・情操豊かな人
- ・心身ともに健康な人

～「あげしお」物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

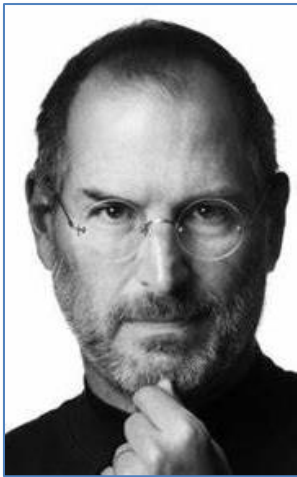
ホームページ <http://www.mitaka-schools.jp/gochu-jhs/>

「愚直であるということ」

校長 鶴崎 靖二

毎週月曜日の朝は、休み明けで少しだけ心が重くなるのは、きっと誰しも経験したことがあるでしょう。私は学校が好きですが、それでも時々そんな気分になることがあります。

ところが、そんな月曜日の朝でも学校の正門に差しかかると、他の曜日より嬉しい気持ちになるのです。なぜかという、バレーボール部の生徒たちが、正門周辺や中庭を清掃してくれているからです。私の姿を認めると生徒たちは「おはようございます！」と元気よくあいさつをしてくれます。私も「おはよう！」「ありがとね♪」と返します。そんな時、職員玄関をのぼる足取りが、幾分軽くなった気がします。バレーボール部の朝清掃は、もうかれこれ6年位前から続けているそうです。



Steve Jobs

1955年 - 2011年

ところで、君たちは、スティーブ・ジョブズという方を知っていますか。

iPhone や iPad などの端末は、身の回りで多くの人が使っているから、アップルの創始者であり、前CEOの彼のことは、きっと中学生の君たちでも名前は聞いたことがあるかもしれませんね。スティーブ・ジョブズ氏はスタンフォード大学の卒業式で講演した時に、こんな話をしています。

” Stay hungry, stay foolish”(ハングリーであれ。愚か者であれ)と。「ハングリーであれ」は、「何に対しても好奇心と意欲をもって、自発的・主体的・積極的に学び取ろうとする姿勢をもて」ということかなと私なりに解釈しています。これにはおそらく異論をはさむ人はいないのではないかと思います。

では「愚か者であれ」とは、皆さんはどう捉えますか。ジョブズ氏はこの講演でこんな話をしています。

「人生に無駄になる経験は無いから、今できること、目の前のこと、やりたいこと、信じたことに全力で取り組もう」「将来を見据えて、点と点を繋げることはできません。できるのは、後からつなぎ合わせることだけです。だから、今やっている点と点が将来何かにつながって実を結ぶと信じるしかない。」と。

誰が言ったか知りませんが、人生は「筋書きのないドラマ」と言われますね。自分は将来こういう人生を送りたいから、点と点をこのように作っていき、人生という線をこのように引いていこう、などと未来予想図を意図的・計画的に筋書きを作ることは出来ないということです。

ですから私は“foolish”という言葉は「愚か者」ではなく「愚直」という意味合いで捉えています。愚直とは「信じて疑わず、貫き通す」という意味です。今の自分は、過去の自分の経験の積み重ねです。そして未来の自分は、今の自分の経験を積み重ねて作られていきます。過去は変えられませんが、未来は変えていくことができます。

今、自分ができること。よいと思ったことをひたすら信じてやり続けていくこと。それは試合に勝つとか、結果を残すとか、技術向上など直に因果関係はないのかもしれない。でも、自分たちが作ったこの「点」は、自分や自分たちのチームを高めるためにつながるかもしれない。何かの形で結ばれることがあるかもしれない。何につながるかははっきりわからなくても、それでも意味のあるものだとして信じて貫き通す。バレーボール部の生徒たちが毎週熱心に清掃するその姿を見て、私はこの子たちの記した点が、いつかよい実を結ぶことを願うと共に、私もそんなバレーボール部を愚直に心から応援したいと感じました。